

ヘルスイノベーション研究科修士課程論文等審査及び最終試験に関する要領

1 目的

この要領は、神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科における修士論文及び課題研究報告書審査及び最終試験の基準について定めるものとする。

2 基準

	修士論文	課題研究報告書
論文審査基準	<p>修士論文は、ヘルスイノベーション研究の分野の学術的な発展に寄与するものであるかについて、以下の観点から総合的に審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 研究課題、研究目的、および研究の意義が明確であること ② 先行研究について十分に検討・吟味されていること ③ 研究目的を達成するための研究方法が適切であること ④ 研究結果に対する考察が客観的かつ妥当性を有すること ⑤ 研究課題の設定、研究方法および結果の公開において倫理的に問題がないこと ⑥ 研究全体に一貫性があり、適切な形式や表記で明確に記述されていること ⑦ 研究に学術的な意義が認められること ⑧ 研究に独創性・新規性が認められること 	<p>課題研究報告書は、ヘルスイノベーション分野の社会的課題に対して実践的に寄与するものであるかについて、以下の観点から総合的に審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 社会的課題の現状認識や課題解決の意義が明確であること ② 課題解決策を提示するための研究手法が適切であること ③ 研究結果に対する考察が客観的かつ妥当性を有すること ④ 研究方法、課題解決策、および結果の公開において倫理的に問題がないこと ⑤ 研究全体に一貫性があり、適切な形式や表記で明確に記述されていること ⑥ 課題の解決に社会的意義が認められること ⑦ 課題解決策に独創性・新規性・実現性が認められること
最終試験基準	<p>最終試験は、修士論文に関する発表および質疑応答を口頭試問(公開)にて実施し、以下の観点から総合的に審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 修士論文について十分に理解し、簡潔に発表できていること ② 研究の社会的意義について明確に示していること ③ 発表に対する質疑に対して適切に回答できていること ④ 本研究科の定めるディプロマポリシーに示したスキルを備えていること 	<p>最終試験は、課題研究報告書に関する発表および質疑応答を口頭試問(公開)にて実施し、以下の観点から総合的に審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 課題研究報告書について十分に理解し、簡潔に発表できていること ② 課題解決の社会的意義について明確に示していること ③ 多面的な視点から課題解決策が提示されていること ④ 発表に対する質疑に対して適切に回答できていること ⑤ 本研究科の定めるディプロマポリシーに示したスキルを備えていること

附 則

この要領は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。